

文化の創造とデジタル・アーキビスト

日時 平成18年11月11日(土) / 場所 岐阜女子大学文化情報研究センター6階大ホール

受付 9:30～

開会 10:00～10:15

◆ 挨拶：堀 幹夫 (岐阜女子大学学長)

報告 10:15～11:00

岐阜女子大学 文部科学省現代GP 高校、大学、大学院、社会人の教育

○デジタル・アーキビストの養成の現状

◆ 岐阜女子大学文化創造学部 文化情報コース

特別講演 11:00～12:00

○文化の伝承と課題

◆ 国立科学博物館 館長 佐々木 正峰 先生 (元文化庁長官、元文部省高等教育局長)

昼食・展示 12:00～13:00

一 展 示 一

白山文化、延年の舞、高山、白川郷、和田家、沖縄、木田宏教育資料などのデジタル・アーカイブの展示

シンポジウム1 13:00～14:30

○白山文化を次の世代に残す

～白山文化の宝庫岐阜「長滝・白川・高山の証」～

- ◆ 総合司会： 浅野 弘光 (岐阜女子大学教授)
- ◆ 提 案 者： 若宮 多門 (白山長瀧神社 宮司)
和田 正人 (国重要文化財和田家 館長)
森瀬 一幸 (高山市教育委員会 教育長)

シンポジウム2 14:30～16:00

○デジタル・アーキビストの今後の課題

～図書館・博物館・学校・企業・メディアでの活躍～

- ◆ 総合司会： 坂井 知志 (常磐大学大学院教授)
- ◆ 提 案 者： 馬場 祐次朗 (国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター長)
廣田 英樹 (奈良産業大学教授・情報処理教育センター長)
古川 和明 (岐阜県博物館 館長)
田嶋 清子 ((株)レ・サンク 取締役)
- ◆ 指定討論者： 若山 皖一郎 (十文字学園女子大学教授)